

# AALA ニュース 第 149 号

## 内容紹介

### 01 大久保賢一「なぜアメリカはガザ停戦決議を拒否するのか」

アメリカはなぜそこまでイスラエルに肩入れするのか。逆に言えば、なぜ、イスラエルはアメリカをそこまで味方にできるのか。埼玉 AALA 理事で、反核法律家協会会長の筆者が、日本 AALA 機関紙 12 月号掲載の西谷修さんの「ガザ・ハマス問題の『最終的解決』にでたイスラエル」を参考に深める。

### 02 平井文子「新ガザ戦争-シオニズムの新たな地平と第二のナクバ」

ネタニヤフはガザへの報復戦を直ちに「第二の独立戦争」とよび、これまでのガザ爆撃とは全く異なる次元、すなわち、ハマス根絶の好機と見た。雑誌『経済』2024 年 1 月号掲載の論考にそって行った日本 AALA 学習会での報告。

### 03 ベネズエラとガイアナが武力不行使と対話継続で合意

エセキボ地域の領有をめぐる対立するベネズエラのマドゥロ大統領と隣国ガイアナのアリ大統領は 12 月 14 日の首脳会談で、武力不行使と対話の継続で合意した。合意文書の全文を紹介。あわせて長い紛争の経過を解説する。

### 04 V プラシャド「エクソンモービルと南米で起こりうる戦争」

世界最大・最強のオイル・パワーがこの地域に政治介入し、ベネズエラとガイアナ両国を仲違いさせようとしている。両国民になんの利益もない。著名な国際ジャーナリストがエセキボ紛争激化の背景をえぐる。

### 05 I. グリフィス「石油と無理強い/ベネズエラ脅迫劇の再開」

エセキボ領有権問題について、ガイアナ大学元副学長が、ベネズエラによる

隣国へのいじめ、脅迫だと批判をしている。係争地での一方的な石油開発や外国企業への採掘権譲渡が紛争拡大の最大要因であることがわかる。